

平成 30 年度府中市自立支援協議会  
就労支援部会 中間報告

平成 30 年 10 月 9 日

## 1 部会員氏名

| No | 氏名     | 選出母体および役職等   |
|----|--------|--|
| 1  | ◎高橋 美佳 | 地域生活支援センターあけぼの   |
| 2  | ○近藤 優子 | 府中市福祉作業所等連絡協議会<br>ギャロップ 施設長  |
| 3  | 桑田 利重  | 地域生活支援センターみ～な センター長  |
| 4  | 田村 智久  | 府中市パーキンソン病友の会  |
| 5  | 吉井 康之  | 府中市社会福祉協議会<br>地域推進部地域活動推進課長補佐兼権利擁護課長補佐兼<br>まちづくり推進係長兼府中ボランティアセンター長 |
| 6  | 吉岡 美佳  | 東京都立府中けやきの森学園  |
| 7  | 今野 ゆかり | 府中公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官   |
| 8  | 小鶴 隆志  | 東京都立府中療育センター   |

◎部会長 ○副部会長

## 2 検討内容

市内の就労支援について課題を整理し、ハローワークや庁内実習実績、関係機関からの意見等を得ながら議論を進め、就労を長く継続するためにより良い方法を、課題や背景を基に意見を集約する。

## 3 会議報告

**第 1 回会議** 日時 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 14:00～16:00 出席委員 6 名

今年度の活動について検討が行われた。

今後 5 回の会議の内容について具体的に決めていく。見学やオブザーバーをどうするか。

必要性の見える化をどのように出して、最終的にどのようにまとめるかなどが話し合われた。具体的には以下について数字や図式化していく。また、就労支援部会は今期で終わりではなく続けていきたいということも話し合われた。

- \* 社会の変化 雇用率が上がり、50 人以上の従業員をかかえる事業所が納付対象となる。
- \* 登録者の推移 ハローワーク、み～な
- \* ハローワークの管轄の市の現状 人口、障害者数、就労支援センター相談員人数。
- \* 就労移行支援利用者数 (府中)

\*み～なの仕事（事例なども入れて分かりやすく大変さを出す）

\*み～なの現状

**第2回会議** 日時 平成30年8月23日（木）10:00～12:00 出席委員 4名

第1回会議で出された項目について具体的な数値を持ち寄り、報告を行った。また、み～なの仕事の見える化の図の作成を行った。

#### 1 各数値の算出報告

\*府中市就労移行支援の支給決定者数（H30.8.20時点）

\*ハローワーク府中管轄自治体の就労支援センター 常勤換算数（単位：人）

\*法定雇用率の上昇の歴史

\*障害者雇用納付金

\*近隣市の状況

\*み～な支援先（企業・関係機関）

\*み～な登録者等経過

#### 2 み～なの状況の確認

・非正規の入れ替わりが多い。正規と非正規の2人組で対応して、どちらかがいなくても対応できるようにしている。

・ともだちサークル（登録者で仕事が安定している人）・・・月1回40名程度参加  
来ていない人の様子を知ることが難しい

順調な人は家庭も安定している。SOSを出せない人は面談にも来ない。

・仕事の支援だけでなく、お金の使い方、生活の支援にも目を向ける必要がある。

・会社に理解してもらうための支援も必要。

・離職の支援をすることもある。

**第3回会議** 日時 平成30年9月28日（木）10:00～12:00 出席委員 6名

第2回会議に引き続き、必要な数値を出し、就労支援センターの必要性の見える化を行った。

#### 1 各数値等の算出報告

\*府中市就労移行支援の支給決定者数（H30.8.20時点）71名

年によって波はあるが毎年60名前後が支給決定されていて、増加傾向にある。  
（就労予備軍）

\*ハローワーク府中管轄自治体の就労支援センターの職員数と登録者数

府中は職員数5名(正規2名)で登録者数369名なので職員1名あたり73.8名

調布は職員数13名(正規8名)で登録者数286名なので職員1名あたり22.0名

\*府中市就労支援センターみ～なの役割図 作成

## 2 各数値等から見た分析

\*府中市の特色として特別支援学校が2ヵ所あり、入院できる大きな精神科病院があり、都立病院などもあるので、障害者が多く、障害のある就労者・就労希望者も多い。

\*府中市は就労の相談件数も多い。

\*隣の市である調布市と比較して就労支援センター職員1名あたりの登録者数は単純に計算して3.35倍となり、支援に手が回らないであろうことがわかる。実際にハローワーク府中では調布の就労支援センターから利用者登録の相談があることもあり、面談に職員が同行することも多いが、府中は行くことができない状況がある。

\*調布は新規就労者・職業定着の人数も多い。(都資料より)

## 3 中間報告までの府中市の現状

\*府中市は就労支援センターの職員数に限りがある状況下で、登録者への支援を行っている。そのため、就労への結びつきや企業支援等に限界がある。

\*理想は就労支援センターを2ヵ所設置(駅近、全障害、精神に強い職員配置)、これが実現しないとしても、就労支援センターの増員は必要。

## 4 最終報告に向けて協議すること

\*み～なの現状を他市状況と数字の面で比較し、人員不足が見える化する。

\*み～なの役割図を肉付けし、必要な支援が見える化する。

⇒「就労支援サービスを利用する→納税者になる→その人らしい生活を送る」の実現に向け、就労支援を可能な限り充実できるよう方策を考える。